

PRESS RELEASE
2019.10.16

熊谷守一 いのちを見つめて

岐阜に生まれた熊谷守一（1880-1977）。子どもの頃から絵を描くことが好きだった守一は、東京美術学校（現 東京藝術大学）に入学し、黒田清輝らに指導を受けながら、同級生の青木繁とも親交を結びました。

97歳まで続く長い画業の中で、身近な動植物や風景を描き続けながら守一の画面はゆるやかに変貌を遂げます。70歳を過ぎて、簡潔な色彩とはっきりした輪郭線による「モリカズ様式」と呼ばれるスタイルを確立してからも、その生涯を終えるまで、年を追う毎に形態や構図は洗練されていきました。

本展では、油彩画を中心に、書や日本画、素描も含めた約150点の作品によって、初期から晩年まで守一の画業の全貌をたどるとともに、花や虫などの愛らしい作品に注目して、小さいのちをみつめる画家の眼差しとその造形性に迫ります。

展覧会名	熊谷守一 いのちを見つめて
会期	2019年11月16日（土）-2020年1月13日（月・祝）
出品点数	約150点
会場	久留米市美術館（本館2階）
主催	久留米市美術館、西日本新聞社、テレビ西日本
特別協力	柳ヶ瀬画廊
企画協力	アートキッチン
後援	久留米市教育委員会
スペシャルパートナー	株式会社ブリヂストン
オフィシャルパートナー	学校法人久留米大学、株式会社筑邦銀行、株式会社森光商店
入館料	一般1,000円（800円） シニア700円（500円） 大学生500円（300円） 高校生以下無料 ※障害者の方は手帳のご提示で、ご本人と介護者1名は一般料金の半額。（ ）内は15名以上の団体料金、シニアは65歳以上。 上記料金にて石橋正二郎記念館もご覧いただけます。
休館日	月曜日、年末年始（12月28日-1月3日）
開館時間	10:00-17:00（入館は16:30まで） 11/23（土）、12/21（土）は19:00まで延長開館（入館は18:30まで）
交通案内	JR 博多駅より JR 久留米駅まで新幹線で20分、快速で40分 福岡（天神）駅より西鉄久留米駅まで特急で30分、急行で40分
本展に関するお問い合わせ	久留米市美術館 展覧会担当：森 智志 広報担当：森 智志 松隈知子 〒839-0862 福岡県久留米市野中町 1015（石橋文化センター内） TEL0942-39-1131/ FAX0942-39-3134

1.見どころ

1-1 いきものを見つめるまなざし

歩くだけであれば 2 分もかからない庭を毎日廻っても飽きないと語った守一。庭に生きる虫や草花などの小さな“いのち”が自然のままに生きる様を見つめ続けたからこそ捉えることのできた一瞬の動作。この観察力によって、単純化されていながらもそれぞれの特徴を強調したいいきものたちの姿は、今にも動き出しそうに見えてきます。また、画家としての視点も重要です。平坦に塗られている背景が自然な空間を獲得していることは、色彩と構図が入念に計算されていることの証です。作品の裏側にある守一のまなざしを想像しながら鑑賞すれば、今回の展覧会をもっとお楽しみいただけるでしょう。

1-2 ゆるやかな変貌

守一の作品を通観すると、画風がゆるやかに変化し続けていることに気がつきます。たとえば、赤い輪郭線がはじめて登場した 1930 年代中頃から、「モリカズ様式」の完成までは、約 20 年の歳月を要しており、その間、輪郭線が塗り残されるようになり、もののかたちが一つの色面で描かれるようになります。そして、「モリカズ様式」を確立してからも、構図や形態はさらに熟考され、色彩はより鮮やかになっていきます。この展覧会では、「モリカズ様式」完成の前後はもちろん、「八十歳を超えて」の章を設けて、最晩年まで変化を続けた守一のゆるやかな変貌を見て取ることが出来ます。

1-3 日本画の魅力

東京美術学校時代から晩年までの油彩画に加え、日本画や書、素描も展示します。守一は東京美術学校で学ぶ前に日本画の画塾である共立美術学館に通っていたということは意外に知られていません。また後年、油彩画よりも先に日本画の個展を開催しており、木村定三をはじめとするコレクターとの出会いもありました。緻密な計算で描かれる油彩画とは対照的に偶然の出来を重視した守一の日本画。本展でご紹介する猫や蝦蟇などは、守一のお馴染みのモチーフですが、油彩画とは違う魅力を放っています。

PRESS RELEASE

2019.10.16

2.関連事業

映画上映会「モリのいる場所」

熊谷守一とその妻秀子の生活を描いた沖田修一監督作品（2018年公開）を上映します。担当学芸員による見どころレクチャー付き。

日時：11月21日（木）、11月24日（日）いずれも14:00-16:00

会場：久留米市立中央図書館視聴覚ホール

定員：120名 参加費・申込不要

※広報用画像・クレジットあります

美術講座「熊谷守一の世界」

日時：12月7日（土）14:00-15:30

会場：本館1階多目的ルーム

定員：70名 聴講無料

講師：藤森 武 氏（写真家）

美術講座「熊谷守一の空間」

日時：12月21日（土）14:00-15:30

会場：本館1階多目的ルーム

定員：70名 聴講無料

講師：森 智志（久留米市美術館学芸員）

【美術講座の申込方法】

電話もしくは本館2階の受付にて申込ください。

Tel：0942-39-1131

ギャラリートーク

日時：土曜日（12/7、12/21をのぞく）、

日曜日（11/24をのぞく） 14:00-14:20

集合場所：本館2階エントランス

参加費・申込み不要 *展覧会チケットが必要です

PRESS RELEASE

2019.10.16

3. 作品掲載に関するお願い

1. 作品掲載をご希望の方は、別紙の「画像利用申込書」にて申請ください。
2. 展覧会の広報を目的とした使用に限らせていただきます。二次使用はできません。
3. 作品の文字のせ、トリミングはできません。
4. 当館が指定するクレジットを必ず作品と一緒に掲載してください。クレジットは別紙の「広報画像利用申込書」をご参照ください。
5. 広報用作品以外の画像をご希望の場合は、申込書の「その他」の欄にタイトルを記入してください。
6. テレビなど映像媒体の取材は、事前にご相談ください。